

授業科目名	初等教科教育法(理科)
科目番号	CB23531
単位数	2.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	春AB 土3,4
担当教員	山本 容子, 佐々木 昭弘, 鷺見 辰美
授業概要	小学校理科の目標及び内容についてのポイントを理解し、物質・エネルギーにかかわるA区分及び生命・地球にかかわるB区分をそれぞれの実験法や用具、観察法や観察手続きなどを、実際の授業のプロセスに合わせて体験し、理科教育における多様な観察法・指導技術とその授業構想や指導案の作成等の知識と技能を習得する。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力
授業の到達目標(学修成果)	小学校理科の授業を実行するのに必要な知識や技能を学び、模擬授業や指導案作成を通してそれらを具体的に実行することができる。
授業計画	第1回 理科という教科について(1)理科の目標 第2回 理科という教科について(2)内容(A区分・B区分)の特徴 第3回 理科の授業設計について(1)問題解決型の授業 第4回 理科の授業設計について(2)活用型の授業 第5回 6年生A区分の授業について 第6回 6年生B区分の授業について 第7回 5年生A区分の授業について 第8回 5年生B区分の授業について 第9回 4年生A区分の授業について 第10回 4年生B区分の授業について 第11回 3年生A区分の授業について 第12回 3年生B区分の授業について 第13回 模擬授業の指導案作り(1)教材研究 第14回 模擬授業の指導案作り(2)展開案作成 第15回 授業構想と指導技術について(1)公開授業の参観 第16回 授業構想と指導技術について(2)授業分析 第17回 学生による模擬授業と協議(A区分) 第18回 学生による模擬授業と協議(B区分) 第19回 初等理科教育の課題と展望(1) 第20回 初等理科教育の課題と展望(2)
履修条件	
成績評価方法	・授業への参加度(30%), 毎時間の感想記録(30%), 最終レポート(40%)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業終了時に示す課題についてレポートを作成する。 また、模擬授業に向けて教材研究を行う。
教材・参考文献・配付資料等	教科書は特に定めないが、以下、購入しておくことが望ましい。また、参考文献は授業時に適宜紹介する。 1. 小学校学習指導要領解説 理科編」

オフィスアワー等（連絡先含む）	山本 容子 yamamoyo at human.tsukuba.ac.jp 佐々木昭弘、鷲見辰美
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	実験や観察の活動では、小学生が体験する授業スタイルで行うので、児童の立場と教師の立場の両面を意識して、意欲的に学んでほしい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	実感を伴った理解，習得・活用・探究，21世紀型能力，言語活動，問題解決学習